

平成 31 年 1 月 報道機関との定例懇談会 要旨

□ 情報提供項目

クライペダ市・久慈市姉妹都市締結 30 周年記念事業、すくすくキッズスポーツフェスタ、平成 30 年度新エネ大賞エネルギー財団会長賞、岩手大学地域連携フォーラム in 久慈、久慈市成人式について市長が説明したほか、1 月の行事予定、イベント情報などについて報道機関にお知らせしました。

□ 記者との質疑応答

記者：巻き網船の誘致は、昨年 15 隻の実績があったと聞いた。今後、どのように展開するか。

回答：現在、久慈港を利用いただいている漁船の会社にはお礼と今後の協力をお願いしたい。昨年はいわき市、銚子市において、営業したが、来年度も、久慈港の利用のしやすさ、メリットなどを売り込んで営業していきたい。

記者：昨年 12 月、札幌市でスプレー缶を室内でガス抜きをして爆発事故が起きた。久慈市では、スプレー缶は使い切った後、ガスを抜き、穴をあけてゴミに出すこととなっている。他の自治体では、穴を開けずにゴミに出すところもあるそうだが、スプレー缶のゴミ捨ての方法の変更など検討しているか。

回答：環境省からは、スプレー缶の使い切りと適切な出し切りについて、住民に周知徹底することとスプレー缶に穴を開けずにゴミとして排出する方法を検討することについて情報提供があった。久慈広域連合では、現在、缶を空にした後、穴を空けて出すこととしている。また、スプレー缶に穴を空けて出すかどうかについては、検討していくように久慈広域連合へ伝えており、4 市町村の関係担当課でも適切な処理方法を検討していきたい。

記者：リトアニア共和国大使の久慈市への来訪は初めてのことか。

回答：リトアニア大使とクライペダ市長夫妻は、5 年位前に来訪いただいている。